



# 水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課 R1.9.4



紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**田辺市秋津谷地区民生児童委員協議会**の皆さんが見学に来られ、当事務所の流水調整課2名が、見学のご案内をいたしました。9月に入り残暑厳しい日が続いていますが、この日も汗ばむ陽気の中、紀の川大堰の概要説明から始まり、館内や展望デッキ、魚道観察室をご案内いたしました。「紀の川には、鮎がたくさんいるんですね。遡上の時期に孫を連れてまた来たいです。」との言葉を頂きました。



## 団体見学概要

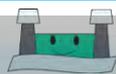


日時：令和1年9月4日(水)13:00~14:30

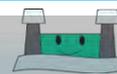
会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：17名

団体名：秋津谷地区民生児童委員協議会



## 紀の川大堰概要説明



まず最初に流水調整課の専門員が、スライドを用いて、紀の川の概要や紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

お配りしたパンフレットやスライドを見ながら熱心に職員の話聞いておられました。



## 魚道の見学



魚道へ向かいます



3種類の魚道へ続く道



デニバチと階段式魚道を見学

魚道へ向かう道中、上流はあっち？こっち？と指差しながら楽しそうにお話されていました。魚道を見学時に「魚道に白い網を張っているのは何で？」と質問がありました。これは、たくさんの方から頂く質問ですが、魚道は、魚釣り禁止区域となっています。また、鳥などから魚を守るために網を張っています。



## 魚道観察室の見学



紀の川にすむ生き物の展示コーナー



階段式魚道を泳ぐ魚を横から見るができます



赤いBoxの下には、階段式魚道を動かす機械があります

階段式魚道を大きな魚が通ったようで、「あれは、ボラやったな。」と魚の泳ぐ様子を楽しんでいました。



## 館内の見学・展望デッキ



窓越しからの操作室



水ときらめき紀の川館 エントランス



きらめき館 1F展示コーナー



紀の川大堰を一望できる展望デッキ



きらめき館 1F 航空写真

2Fにある操作室、3Fの展望デッキをご案内した後、1Fの展示室に移動し、紀の川の歴史や水害の記録をご覧になりました。「紀の川は、大台ヶ原から流れ出ていることを知りました。」見学を通して、身近な紀の川や紀の川大堰の役割、必要性を学ばれました。



**Q. どんなときに紀の川大堰の橋（管理橋）を通行止めにするか？**

**A.** 普段は、川の両側の町をつなぐ役割をしていますが、ゲートの点検・修理・補修をするために、クレーン車で予備ゲートを設置・撤去作業を行う期間は、管理橋を通行止めになります。

